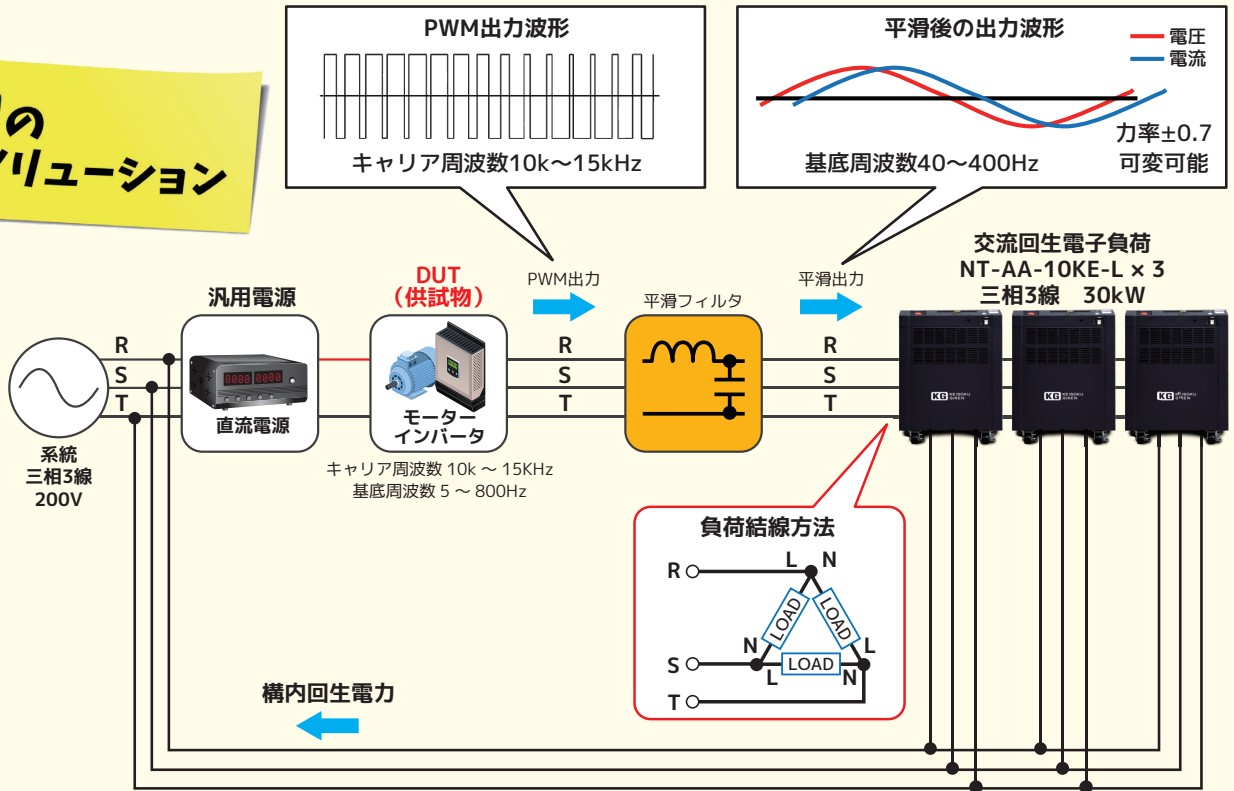




# モーターインバータの実験に

## 三相回生交流電子負荷

KGのソリューション



### モーターインバータ (PWM出力) に対応

モーターインバータから出力される PWM 出力をフィルタで平滑化し、モーターエミュレータや実モータを使用することなく、モーターインバータの実験をすることを目的とした交流回生電子負荷システムです。基底周波数は 5Hz ~ 1kHz (5Hz ~ 800Hz が仕様保証) と広い入力周波数範囲をもっております。専用試験器でない為、限定せず汎用の交流回生電子負荷として幅広い実験にお使いいただけます。

回生電力ノイズ  
CISPRのClassAに準拠。  
他機器への動作不良が発生させない低ノイズ

5~1kHz(5Hz~800Hzが仕様保証)入力オプションを用意。  
シームレス動作に対応

進み遅れ位相(±0.7)による容量性・誘導性の再現が可能(本システム構成時の制限、製品では±1.0の可変可能)

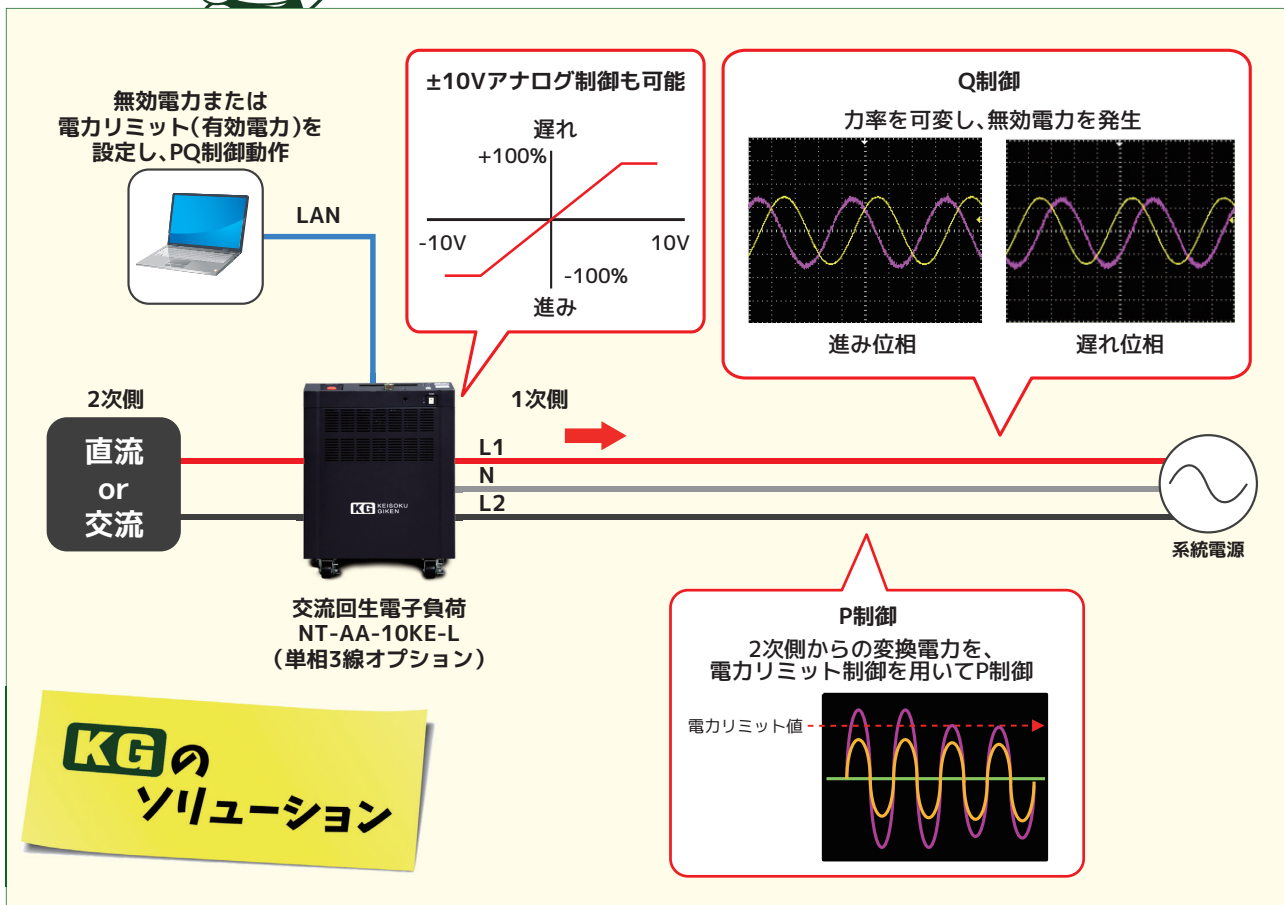
### 交直両用回生電子負荷 Ene-phantシリーズ NT-AA-10KE-L

AC : 480Vrms / DC : 680V | AC : 60Arms / DC : 60A | 10kW

標準価格(税別) ¥3,750,000~

- AC負荷モード(CC/CR/CP), DC負荷モード(CC/CR/CV/CP)
- 進み・遅れ電流位相(±1.0)およびCF(√2~4.0)設定機能
- 並列接続により最大50kW(三相3線:30kW)
- 周波数5Hz~1kHzシームレスに対応(オプション:AC専用)
- 最大効率90%以上
- MPPT(最大電力点追従モード)を標準搭載
- USB/RS232C、LAN I/F 標準装備
- 負荷側と系統側はトランス絶縁し系統連系規定に準拠
- 系統側電力測定オプション





**系統連系出力値のP(有効電力)およびQ(無効電力)制御が可能なPCS(パワーコンディショナー)エミュレータ**

PCSから発電したエネルギーは系統電力へ回生し需要家へ送電されます。系統負荷が少ない場合、系統電圧が上昇し基幹送電ラインが停電する可能性がある為、系統電圧が上がらないようにPCSにPQ制御が必要です。これらの系統負荷条件や発電量、PQ値の変更などのエミュレーションを目的とした交直両用回生電子負荷システムです。

三相3線、オプションで単相3線のPQ制御が可能

MPPTモードを内蔵。直接PVパネルと接続し、PV用PCSとしても動作可能

発電模擬としての入力電力(2次側)は直流・交流どちらも併用な交直両用モデル

**交直両用回生電子負荷**  
Ene-phatシリーズ NT-AA-10KE-L



●このカタログの記載内容は、2022年04月現在のものです。 ●ご購入につきましては、最新の仕様・価格・納期をご確認ください。 ●記載されている会社名・製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。 ●記載の仕様・形状等は改良等により予告なしに変更されることがあります。 ●記載されている内容は、正確な情報であるよう努めておりますが、万が一誤り等お気づきの点ございましたら当社までお問い合わせください。

